

### Ⅲ 救 急 の 概 要

#### 1. 救急体制

##### (1) 救急業務実施体制

県内の救急体制は、昭和38年の消防法改正により救急業務が消防の任務として法制化されて以来、逐次整備充実されており、平成27年4月1日現在、県内全市町村において救急業務を実施している。

##### 救急業務実施市町村（義務実施）

各年4月1日現在

	市町村数	人口(人)	人口カバー率(%)
昭和40年	4	326,530	38.5
昭和50年	16	786,596	73.9
平成27年	39	1,371,456	100.0

##### (2) 応援協定による救急業務

近隣市町村等による相互応援協定、西名阪自動車道消防相互応援協定を締結して、救急業務を実施している。

##### 西名阪自動車道における救急体制

平成27年4月1日現在

	柏原 IC	香芝 IC	法隆寺 IC	郡山 IC	天理料 金所	天理 IC
上り車線	<b>奈良県広域消防組合</b>					
下り車線	<b>柏原羽曳野藤井寺 消防組合</b>	<b>奈良県広域消防組合</b>				

##### (3) 救急隊員と装備

救急業務は、人命救助という重要な業務であることから、現在は、救急隊員の応急処置の内容が明確化され、また、救急隊員に対する教育講習も義務づけられたことにより、救急業務の内容が質的に向上している。

平成27年4月1日現在、救急隊員数は998名で、救急自動車数は85台である。

##### 救急隊員及び救急自動車の状況

平成27年4月1日現在

	救急隊員数(人)			救急自動車数(台)
	専任	兼任	計	
消防本部	194	804	998	85
役場	0	0	0	0
計	194	804	998	85

## 2. 救急医療体制

### (1) 救急告示病院

救急患者を受け入れるべき救急告示の病院及び診療所数は、平成27年4月1日現在、39機関である。

#### 医療機関数

平成27年4月1日現在

	病 院			診 療 所	計	前年同期
	国 公 立	公 的	私 的			
救 急 告 示	11	4	24	0	39	40
そ の 他	31	20	35	1,053	1,139	1,141

### (2) 救急医療体制の整備

休日・夜間における救急需要の増大に対処するため、県では、1次救急医療については、市町村を中心に地域医師会の協力を得て実施し、2次救急医療については、市町村が病院群輪番制により体制を確保しているほか、救急告示病院が救急患者を受け入れている。また、3次救急医療については、県立医科大学附属病院に高度救命救急センター、奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院に救命救急センターが設置され、救急業務の円滑、適正な遂行を確保するため、体系的な救急医療体制の確立を図っている。

## 3. 救急業務実施状況

### (1) 救急出場件数と搬送人員

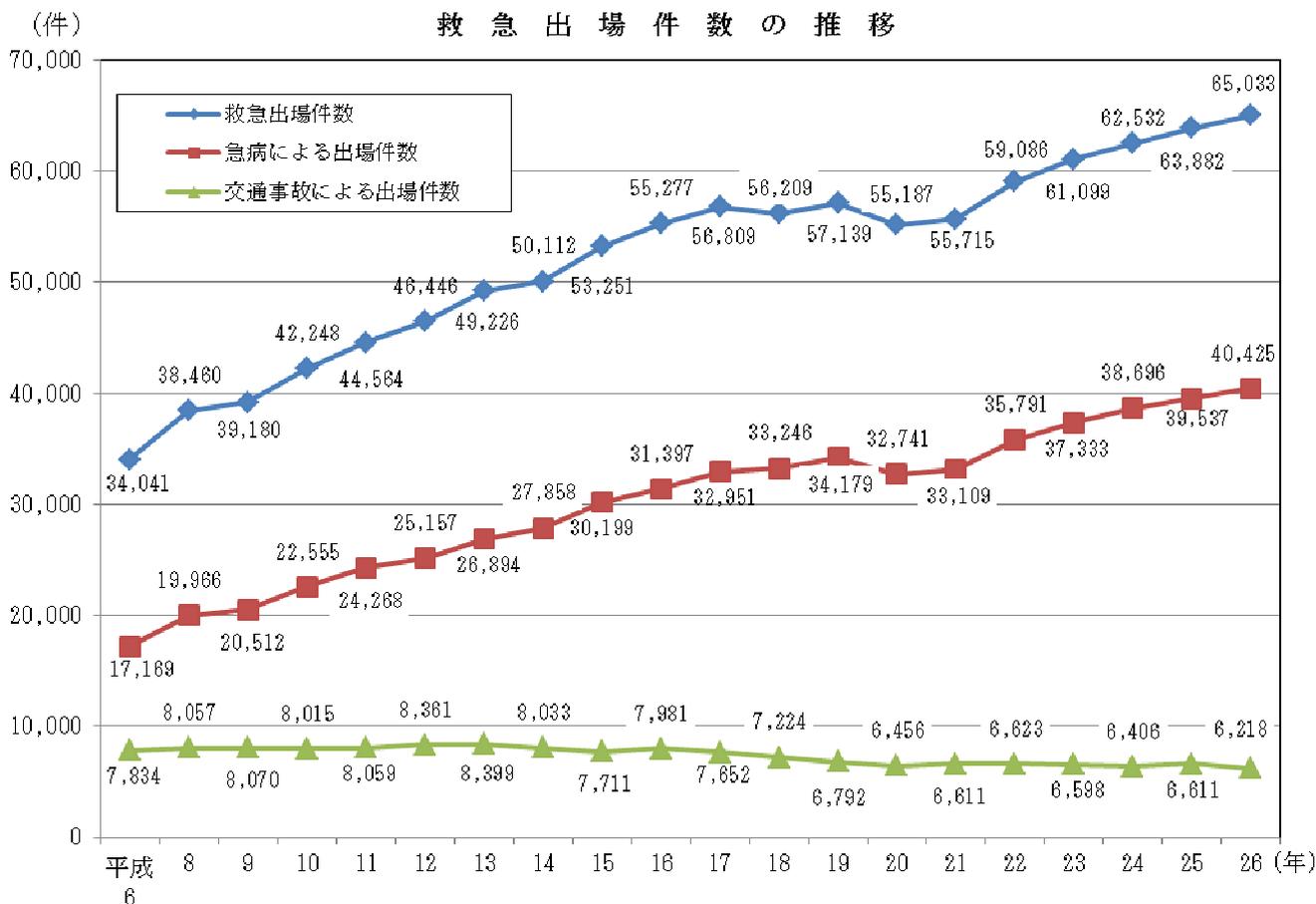
平成26年中における県内の救急業務実施状況は、出場件数65,033件、搬送人員60,356人で、前年に比べ出場件数で1,151件(1.7%)増加、搬送人員で835人(1.4%)増加した。

また、人口1万人当たりの出場件数は475件で、1日平均では178件、約8分に1回の割合で救急隊が出場していることとなる。

#### 救急出場件数及び搬送人員

(単位：件、人、%)

		救 急 出 場 件 数					搬 送 人 員		
		うち交通事故によるもの		うち急病によるもの		対前年 増減率	人口1万人 当 た り 出 場 件 数	対前年 増減率	
		件数	構成比	件数	構成比				
平成22年	59,086	6,623	11.2	35,791	60.6	6.1	414	55,509	5.9
平成23年	61,099	6,598	10.8	37,333	61.1	3.4	436	57,062	2.8
平成24年	62,532	6,406	10.2	38,696	61.9	2.3	453	58,353	2.3
平成25年	63,882	6,611	10.3	39,537	61.9	2.2	455	59,521	2.0
平成26年	65,033	6,218	9.6	40,425	62.2	1.8	475	60,356	1.4



(2) 事故種別出場件数及び搬送人員

平成26年中の事故種別出場件数は、急病が62.2%と最も多く、続いて一般負傷、交通事故の順となっている。

また、事故種別搬送人員も急病が61.5%と最も多く、続いて一般負傷、交通事故の順となっている。

**事故種別救急出場件数及び搬送人員 (平成26年中)**

(単位: 件、人、%)

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
出場件数	228	6	20	6,218	690	382	10,045	233	726	40,425	6,060	65,033
構成比	0.4	0.0	0.0	9.6	1.1	0.6	15.4	0.4	1.1	62.2	9.3	100.0
搬送人員	52	5	8	6,294	676	382	9,502	185	514	37,096	5,642	60,356
構成比	0.1	0.0	0.0	10.4	1.1	0.6	15.7	0.3	0.9	61.5	9.3	100.0

(3) 年齢別・傷病程度別搬送人員

平成26年中の年齢別搬送人員は、老人が33,912人(56.2%)で最も多く、次いで成人20,543人(34.0%)となっており、新生児は151人(0.3%)となっている。

一方、搬送人員を傷病程度別にみると、死亡667人(1.1%)、重症6,017人(10.0%)、中等症25,996人(39.5%)、軽症27,653人(45.8%)、その他23人(0.0%)で、軽症者が約半数を占めている。

年齢区分別、事故種別及び傷病程度別搬送人員（平成26年中）

（単位：人）

	合計	事故種別					傷病程度別				
		火災	交通事故	一般負傷	急病	その他	死亡	重症	中等症	軽症	その他
乳幼児等	3,346	0	200	904	1,940	302	4	131	835	2,374	2
少年	2,555	2	687	429	1,054	383	3	99	648	1,803	2
成人	20,543	32	3,902	1,934	11,768	2,907	119	1,476	7,224	11,716	8
老人	33,912	18	1,505	6,235	22,334	3,820	541	4,311	17,289	11,760	11
合計	60,356	52	6,294	9,502	37,096	7,412	667	6,017	25,996	27,653	23

（注）役場救急を除く。

乳幼児等=満7歳未満、少年=満7歳以上18歳未満、成人=満18歳以上65歳未満、老人=満65歳以上。

（4）医療機関別搬送人員

平成26年中の搬送人員のうち救急告示医療機関へ搬送された救急患者は55,660人（92.2%）で、救急告示以外の医療機関へ搬送された者は、4,651人（7.7%）となっている。

また、医療機関への搬送時間は、30分以上60分未満が37,994人（62.9%）で最も多く、30分までに搬送された者は、全体の21.2%（前年は22.4%）となっている。

医療機関別搬送人員

（単位：人、%）

	合計	医療機関				接骨院等・その他	
		救急告示		救急告示以外		人数	構成比
		人数	構成比	人数	構成比		
平成22年	55,509	49,245	88.7	6,232	11.2	32	0.1
平成23年	57,062	50,903	89.2	6,149	10.8	10	0.0
平成24年	58,353	52,461	89.9	5,884	10.1	8	0.0
平成25年	59,521	52,482	88.2	7,018	11.8	21	0.0
平成26年	60,356	55,660	92.2	4,651	7.7	45	0.1

収容所要時間別搬送人員

（単位：人、%）

	合計	10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
平成22年	55,509	47	2,729	14,503	31,170	6,499	561
平成23年	57,062	26	2,042	13,587	33,230	7,595	582
平成24年	58,353	28	1,782	12,665	34,895	8,357	626
平成25年	59,521	18	1,584	11,709	36,794	8,672	744
平成26年	60,356	11	1,377	11,416	37,994	8,867	691
構成比	100.0	0.0	2.3	18.9	62.9	14.7	1.1

（5）転送の回数と理由

平成26年中に医療機関へ搬送した患者のうち、転送を余儀なくされたものは424人（0.7%）、前年は483人（0.8%）で、そのうち2回以上されたものは、5人（前年4人）であった。

転送の理由は、処置困難が211件（49.8%）で最も多く、次いで専門外が114件（26.9%）となっている。

**転送回数別患者数と転送の理由別件数**

(単位：人、件)

	転送回数別患者数				転送の理由別件数						
	計	1回	2回	3回以上	計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	その他
平成21年	551	545	6	0	557	59	120	2	0	279	97
平成22年	580	568	12	0	592	49	138	2	0	286	117
平成23年	483	471	12	0	495	37	144	2	1	219	92
平成24年	453	446	7	0	460	37	99	2	0	235	87
平成25年	483	479	4	0	487	41	136	3	0	225	82
平成26年	424	419	5	0	424	26	114	1	1	211	71

(6) 救急隊員の行った応急処置

平成26年中の搬送人員のうち、救急隊員が何らかの応急処置を行った救急患者は59,860人(搬送人員の99.2%)で、その内容は、血中酸素飽和度の測定が26.9%で最も多く、次いで心電図、酸素吸入、保温となっている。

**救急隊員の行った応急処置**

(単位：件、%)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	構成比
	止血	4,108	4,160	4,131	1,907	
固定	5,809	5,754	5,842	3,851	3,851	1.8
人工呼吸	143	148	167	198	198	0.1
心マッサージ	38	44	46	507	507	0.2
心肺蘇生	1,158	1,186	1,275	2,677	2,677	1.3
酸素吸入	11,984	12,040	11,903	11,865	11,865	5.6
気道確保	2,430	2,481	2,639	2,493	2,493	1.2
保温	8,175	7,901	7,622	6,458	6,458	3.1
被覆	4,769	4,829	4,798	4,826	4,826	2.3
除細動	161	153	169	150	150	0.1
静脈路確保(輸液)	602	593	638	648	648	0.3
心電図	13,005	13,879	15,092	17,311	17,311	8.2
血中酸素飽和度の測定	53,089	55,450	56,900	56,623	56,623	26.9
その他	86,239	95,522	99,550	101,222	101,222	48.0
合計	191,710	204,140	210,772	210,736	210,736	100.0

(7) 高速自動車国道における救急業務

**西名阪自動車国道における救急業務の実施状況(平成26年中)**

(単位：件、人)

実施団体	担当区域	出場件数	搬送人員
奈良県広域消防組合	天理インター～柏原インター(上り)	15	13
	香芝インター～天理インター(下り)		